

北海道大学
バリアフリー整備年次計画 2017
(バリアフリー整備計画・現地調査報告)



教育改革室 施設・環境計画室

北海道大学バリアフリー整備年次計画 2017
(バリアフリー整備計画・現地調査報告)

目 次

北海道大学バリアフリー整備年次計画 2017 (バリアフリー整備計画・現地調査報告)

1. 資料の目的	．．．．．	1
2. 業務の概要		
1) 効率的な調査及び効果的な整備計画のための方策	．．．．．	1
2) 「バリアフリーに関するチェックシート（建物編）」の策定	．．．．．	2
3) 既存施設の現地調査	．．．．．	3
4) バリアフリー整備年次計画	．．．．．	4

資料

【資料1】	既存施設の改善整備 優先順位	．．．．．	1
【資料2】	バリアフリーに関するチェックシート（建物編）標準様式	．	3
【資料3】	判定フローチャート	．．．．．	7
【資料4】	バリアフリーに関する調査集計表	．．．．．	9
【資料5】	個別チェックシート+現地確認記録写真（一部抜粋）	．．．	11
【資料6】	バリアフリー整備年次計画	．．．．．	19
【資料7】	改善工事費を算出した項目（一部抜粋）	．．．．．	23
その他	ユニバーサルデザイン・バリアフリー検討グループ会議		

用語の定義

- ・ バリアフリー法： 高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成 18 年 6 月 21 日法律第 91 号，改正 平成 18 年 6 月 21 日法律第 92 号）をいう。
- ・ 特定建築物： バリアフリー法第 2 条第 16 号に規定する学校，病院，劇場，観覧場，集会場，展示場，百貨店，ホテル，事務所，共同住宅，老人ホームその他の多数の者が利用する建築物等をいう。
- ・ 特別特定建築物： バリアフリー法第 2 条第 17 号に規定する特別支援学校，官公舎等の不特定かつ多数の者が利用し，又は主として高齢者，障害者等が利用する特定建築物であって，移動等円滑化が特に必要なものをいう。
- ・ 建築物移動等円滑化基準： バリアフリー法第 14 条第 1 項に規定する移動等円滑化のために必要な建築物特定施設の構造及び配置に関する基準をいう。
- ・ 建築物移動等円滑化誘導基準： バリアフリー法第 17 条第 3 項第一号に規定する建築物移動等円滑化基準を超え，かつ，高齢者，障害者等が円滑に利用できるようにするために誘導すべき建築物特定施設の構造及び配置に関する基準をいう。
- ・ 主要な経路： バリアフリー法第 18 条第 1 項に規定する「移動等円滑化経路」をいう。
- ・ 利用居室： バリアフリー法第 18 条に規定する不特定かつ多数の者が利用し，又は主として高齢者，障害者等が利用する居室をいう。

1. 資料の目的

北海道大学は、第三期中期計画において、全ての学生に教育の機会が公平に提供されるキャンパスを目指して、「平成29年度までにバリアフリー整備計画を策定し、ユニバーサルデザインに配慮したキャンパスに整備する」ことを掲げている。

平成29年度バリアフリー整備計画を策定するためには、本学の現状と問題点を正確に把握するための現地調査が重要な取組みである。

また、効果的な整備計画を立案するには、優先順位の高い施設を選択して計画的・効率的に現地調査を推進することも重要である。

平成29年度の年度計画の最終成果品となる『バリアフリー整備年次計画』だけでなく、現地調査結果の基礎資料と整備計画策定業務の経緯等を整理して、今後の継続的な現地調査業務のガイドラインとなるよう関係資料を取りまとめた。

2. 業務の概要

1) 効率的な調査及び効果的な整備計画のための方策

① 施設種別の優先順位

【資料1】

利用頻度と公開性の高さにより、福利施設・一般開放公開施設である学生食堂や図書館等の多くの学生が利用している施設を優先して調査

② 施設部位別の優先順位

主たる利用者である学生教職員のスムーズな移動が可能となるように、屋外通路、スロープ、てすり、並びにアメニティ向上のための多目的トイレ等の施設部位を優先して調査

既存施設の改善整備 優先順位

(一般的な学生等の視点で検討)

公開性	学外来訪者・学内構成員ともに多く人数も大	4	5	6	7
	学外来訪者が多く人数は大	3	4	5	6
	学内構成員が多く人数は小	1	3	4	5
		1	2	3	4
		利用頻度			

1	2	3	4
年1・2回程度	開館時・イベント時	毎週～毎日	ほぼ毎日

※ マトリックス内の数字は利用頻度、公開性に応じた点数付けを合算した数値。
 大きいほど優先的に整備する目安とする。要望や緊急性があった場合など、個々の施設や実情を勘案し、個別の判断が必要な場合は適宜対応する。
 研究・実験施設については、該当者がいた場合、随時整備を行うこととする。
 (参考:名古屋大学キャンパスユニバーサルデザインガイドライン2015)

【資料1】 既存施設の改善整備 優先順位

2) 「バリアフリーに関するチェックシート（建物編）」の策定

① チェックシート

【資料2】

効率的な調査が可能となるよう、バリアフリー法による「建築物移動等円滑化基準」と施設部位別優先順位の考え方に基づきチェックシート（標準様式）を作成

② 判定フローチャート

【資料3】

判定の統一性を確保するために、評価基準を明確にした判定フローチャートを作成

「○」：整備基準に適合している状況

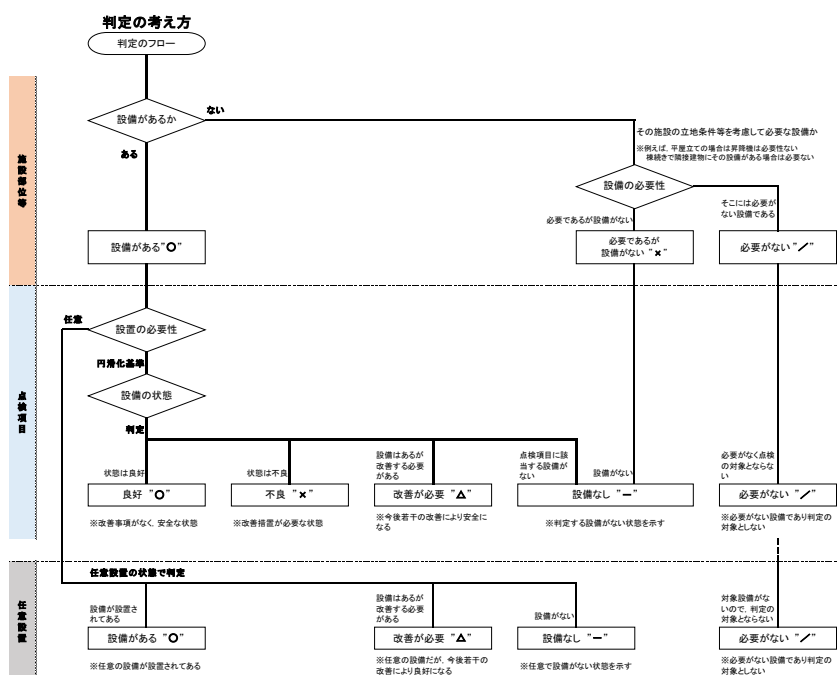
「×」：整備基準に適合していない状態、速やかに改善が必要な事項

「-」：整備基準による設置義務はないが、設置することが望ましい事項

「/」：判定対象となる設備が無い事項

調査年月日	部局等名	様番号	様名称	調査者
施設部位等	点検項目	判定	現況（チェック欄）	特記事項
1. 通路	(メイン道路から出入口まで)		(主たる出入口は何階か) 階	
①	出入口までの通路は、車いす使用者等が安全に通行できる状態になっている (歩道の分断又は仮面表示等)	(現況) (歩道がある場合その幅員)	cm	
②	歩道及び歩道の路面は滑りにくい仕上げになっている	(歩道) (歩道) (その他)	・アスファルト舗装 ・タイル(インターロッキング含) ・アスファルト舗装 ・タイル(インターロッキング含) ・その他()	
③	出入口までの路面に段差(2cm超)がない	(高さ) (場所)	cm	
④	身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されている (専用の標示があるもの)	(台数) (幅員)	台分 cm	
	(任意設備)	(方式)		
⑤	出入口までの路面にローリーディングが設けられている			

【資料2】バリアフリーに関するチェックシート（建物編）標準様式



【資料3】判定フローチャート

4) バリアフリー整備年次計画

【資料6】

① バリアフリー整備年次計画のまとめ方

整備年次計画については、本来、(1)整備予定年度、(2)所要額、(3)財源の種別等を整理する必要がある。

しかしながら、現状では整備計画の具体的な整備年度、及び財源の種別を確定することは不可能なことから、施設整備の優先順位の考え方や、緊急度等を基に整理し、整備予定年度に替え、短期的対応、中長期的対応として一覧表にまとめた。

また、具体の障害をもつ学生の入学等があった場合は、臨機に対応することを『バリアフリー施設環境整備計画2017』の本文に明記しておくこととした。

② 改善工事費を算出した項目

【資料7】

- ・通路の安全確保（区画線表示、身障者用駐車場の設置）
- ・スロープの手すり
- ・出入口の扉
- ・出入口階段の手すり
- ・屋内階段の手すり
- ・身障者用トイレの扉

バリアフリー整備年次計画

団地区分	公開性	利用頻度	緊急度	総合優先度	該当場所	項目	対応策	短期的対応	中長期的対応	備考
札幌1	3	4			中央食堂	出入口までの通路である歩道が途切れている。また、歩道に段差がある	歩行者通路の区画線表示、及び、歩道の段差解消	○		
札幌1	3	4			中央食堂	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			中央食堂	身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されていない	身障者用駐車場(幅350cm以上)を設置		○	
札幌1	3	4			中央食堂	玄関スロープに手すりが設置されていない	スロープに手すり設置		○	
札幌1	3	4			中央食堂	玄関スロープにロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			中央食堂	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない				

【資料6】バリアフリー整備年次計画

平成29年度 バリアフリー整備計画（屋外通路・身障者用駐車場）

1. 出入口までの安全な通路（歩車道の分離、又は区画線表示等）の確保
2. 身障者専用駐車場（幅350cm以上、専用表示がある）の確保 **「管理部局の最終確認必要」**

建物名称	通路評価	駐車場評価	改善工事の内容	備考（概算工事金額） 直工×経費率×1.08 円
1. 百年記念会館	○	×	1. 通路区画線 2. 身障者用駐車スペースの区画線（標識看板設置共）	
2. 学術交流会館	△	×	1. 通路区画線 2. 身障者用駐車スペースの区画線（既存あり）補修	
3. クラーク会館	×	×	1. 歩道の切り下げ（緑石共） 2. 通路区画線 3. 身障者用駐車スペースの区画線（標識看板設置共）	
4. 中央食堂	×	×	1. 歩道の切り下げ（緑石共） 2. 通路区画線 3. 身障者用駐車スペースの区画線（標識看板設置共）	
5. エンレイソウ	○	×	1. 身障者用駐車スペースの区画線（標識看板設置共）	

【資料7】改善工事費を算出した項目

資料

【資料 1】	既存施設の改善整備 優先順位	・・・・・・・・ 1
【資料 2】	バリアフリーに関するチェックシート（建物編）標準様式	・・・ 3
【資料 3】	判定フローチャート	・・・・・・・・ 7
【資料 4】	バリアフリーに関する調査集計表	・・・・・・・・ 9
【資料 5】	個別チェックシート＋現地確認記録写真（一部抜粋）	・・・・ 11
【資料 6】	バリアフリー整備年次計画	・・・・・・・・ 19
【資料 7】	改善工事費を算出した項目（一部抜粋）	・・・・ 23
その他	ユニバーサルデザイン・バリアフリー検討グループ会議	

既存施設の改善整備 優先順位

(一般的な学生等の視点で検討)

公開性	学外来訪者・学内構成員 ともに多く人数も大	4	5	6	7	高
	学外来訪者が多く人数は大	3	4	5	6	
	学内構成員が多く人数は小	2	3	4	5	低
			1	2	3	4
				開館時・イベント時	毎週～毎日	ほぼ毎日
				利用頻度		

※ マトリックス内の数字は利用頻度、公開性に依じた点数付けを合算した数値。
 大きいほど優先的に整備する目安とする。要望や緊急性があった場合など、個々の施設や実情を勘案し、個別の判断が必要な場合は適宜対応する。
 研究・実験施設については、該当者がいた場合、随時整備を行うこととする。
 (参考:名古屋大学キャンパスユニバーサルデザインガイドライン2015)

バリアフリーに関するチェックシート(建物編)

調査年月日	部局等名	棟番号	棟名称	調査者

施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)	特記事項
1. 通路	(メイン道路から出入口まで)		(主たる出入口は何階か) 階	
	① 出入口までの通路は、車いす使用者等が安全に通行できるようになっている(歩車道の分離又は区画表示等)		(現況) (歩道がある場合その幅員) cm	
	② 歩車道及び歩道の路面は滑りにくい仕上げになっている		(歩車道) ・アスファルト舗装 ・タイル(インターロッキング含) ・その他() (歩道) ・アスファルト舗装 ・タイル(インターロッキング含) ・その他()	
	③ 出入口までの路面に段差(2cm超)がない		(高さ) cm (場所)	
	④ 身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されている(専用の標示があるもの)		(台数) 台分 (幅員) cm	
	(任意設置) ⑤ 出入口までの路面にロードヒーティングが設置されている		(方式) ・電気式 ・温水式(不凍液) ・その他()	
2. スロープ				
	① スロープの入り口に段差(2cm超)がない		(高さ) cm	
	② スロープに手すりを設置している(勾配1/12以下で高さ16cm以下、又は1/20以下の傾斜部分は免除)		(高さ) cm (材質)	
	③ 幅が120cm以上ある(階段併設の場合は90cm以上)		(内法幅) cm (階段併設) 有 ・ 無	
	④ 勾配1/12以下になっている(高さ16cm以下は、勾配1/8以下)		(勾配) 度 (高さ) cm	
	⑤ 高さが75cmを超える場合は、高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けている(勾配が1/20以下の場合は免除)		(踏幅) cm (高さ) cm	
	⑥ スロープは滑りにくい仕上げになっている		(仕上) ・アスファルト舗装 ・タイル(インターロッキング含) ・その他()	
	⑦ スロープ途中で水が溜まったり、タイルが割れたりしているところがない		(現況)	
	⑧ スロープの周辺には自転車等で妨げられない工夫がされている		(措置内容)	
(任意設置) ⑨ スロープ床面にロードヒーティングが設置されている		(方式) ・電気式 ・温水式(不凍液) ・その他()		

参考：勾配
1/12＝約4.8度
1/8＝約7.1度
1/20＝約2.9度

バリアフリーに関するチェックシート(建物編)

現地調査シート

180205

調査年月日	部局等名	棟番号	棟名称	調査者

施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)	特記事項
6. 昇降機	(2階建て以上の場合)			
	① 近辺に標識が設置されている		(標識の形状) ・文字 ・ピクトグラム ・文字 + ピクトグラム	
	② 出入口幅は80cm以上ある		(内法幅) cm	
	③ かごの奥行きは135cm以上ある		(かごの奥行き) cm	
	④ 乗降ロビーは水平で、150cm×150cm以上ある (段差の有無)		(以下の場合) cm × cm (段差) 有 ・ 無	
	⑤ かご内及び乗降ロビーに車いす使用者が 利用しやすい制御装置を設けている			
	⑥ 制御装置は視覚障害者が円滑に操作で きる(点字表示)		(点字表示) 有 ・ 無	
	⑦ かご内に停止予定階、現在位置の表示装 置を設けている			
	⑧ 乗降ロビーに昇降方向の表示装置を設け ている			
	⑨ 足下の視野を確保できるミラーが設置さ れている			
	⑩ かご内に到着階、出入口閉鎖を知らせる 音声装置を設けている			
	⑪ かご内及び乗降ロビーにかごの昇降方向 を知らせる音声装置を設けている			
⑫ フロアの最も遠い部分からの距離が60m 以内である		(距離) m		

バリアフリーに関するチェックシート(建物編)

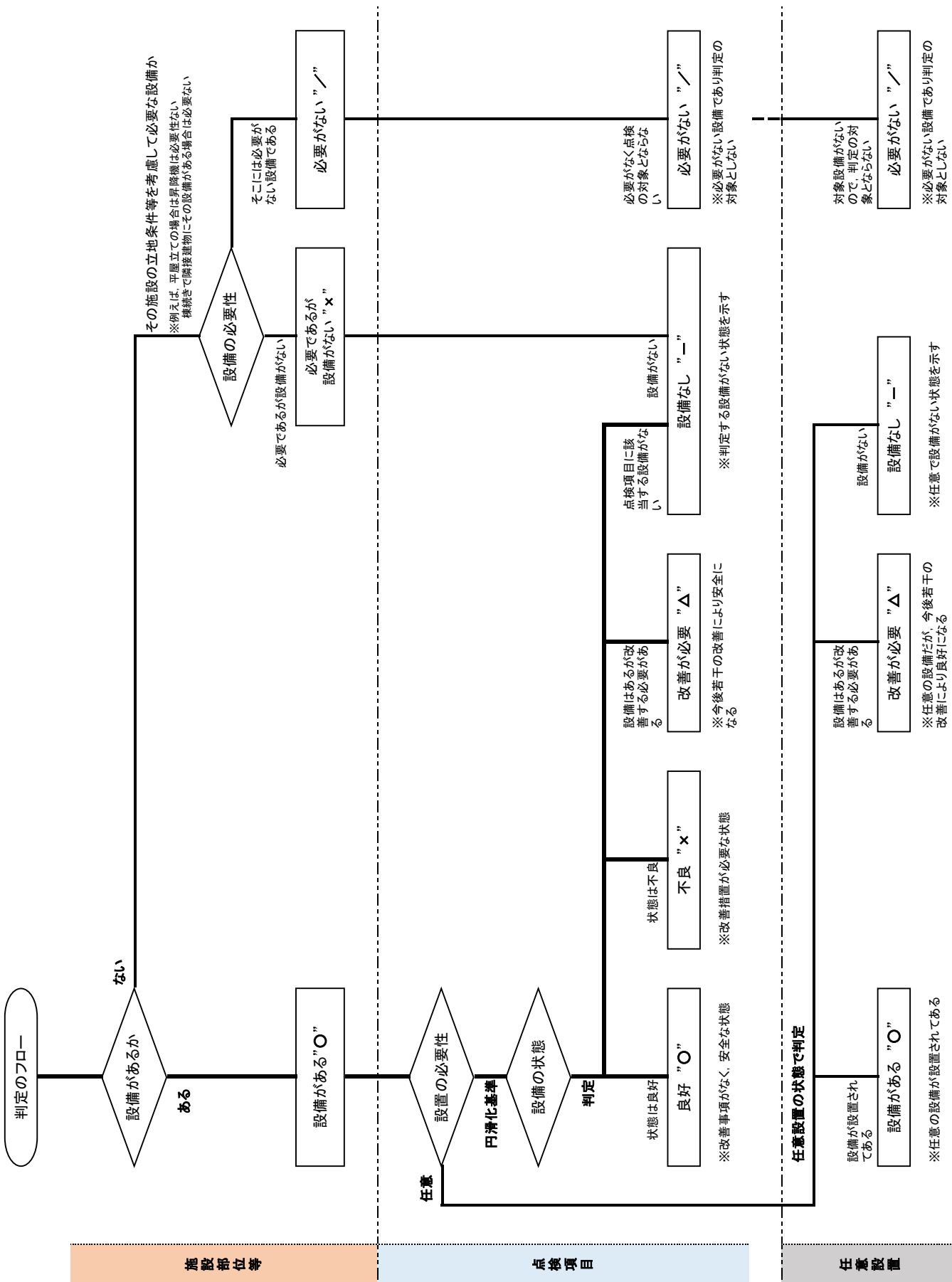
現地調査シート

180205

調査年月日	部局等名	棟番号	棟名称	調査者

施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)	特記事項
7. 身障者用トイレ	設置場所のどこを 確認したか ⇒	階	(箇所数) (設置場所)	
	① トイレの近辺に標識が設置されている		(標識の形状) ・文字 ・ピクトグラム ・文字 + ピクトグラム	
	② 出入口は引き戸になっている		(開閉方式) ・開き戸 ・引き戸 ・折り戸 (駆動方法) ・自動 ・手動	
	③ 出入口幅は80cm以上ある		(幅) cm	
	④ 出入口前には車いすが転回できる空間がある(150cm×150cm以上)		(空間) cm × cm	
	⑤ トイレ内は、車いす使用者の利用に十分な空間が確保されている(200cm×200cm以上)		(空間) W D cm × cm	
	⑥ 車いす使用者が利用しやすい、腰掛便座、手すり等が適切に設置されている(便座の高さ 40~45cm程度)		(高さ) cm (便座種別) ・洗浄便座 ・暖房便座 ・普通便座 (手すり) 有 ・ 無	
	⑦ 床面は滑りにくい仕上げになっている		(仕上材)	
	⑧ トイレ内に荷物置き場またはフックが設置されている		(種別) ・棚 ・フック ・その他()	
	⑨ 緊急呼び出しボタンが設置されている		(発報先)	
	⑩ 緊急呼び出しボタンは転倒した場合にも使用できるように、床面に近いところにも設置されている		(現況)	
	⑪ 便器洗浄ボタンは、立位、座位(便座から、車いすから)で押せるようになっている		(現況)	
	⑫ 洗面台が設置されている(高さ70cm程度)		(高さ) cm (水栓の型式) ・自動水栓 ・レバー ・普通水栓(ハンドル)	
	⑬ フロアの最も遠い部分からの距離が50m以内である		(距離) m	
	⑭ 清掃は行きとどいている		(現況)	
	⑮ 緊急呼び出しボタンの作動点検を行っている		(現況)	
⑯ 手すりの点検を行っている		(現況)		
8. その他 (バリアーになっているもの)				

判定の考え方



バリアフリーに関するチェックシート(建物編)

用途 ③一般開放・公開施設

調査年月日 2017(H29) 9 13 水

部局等名	団地名	棟番号	棟名称	調査者
本部	札幌1	106	百年記念会館	澤口

施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)	特記事項
1. 通路	(メイン道路から出入口まで)	○	建物の何階を主たる出入口としたか⇒ 2 階	2. スロープ 3. 出入口 4. 屋内階段に共通
	① 出入口までの通路は、車いす使用者等が安全に通行できるようになっている(歩車道の分離又は区画表示等)	○	(現況) ブリッジ (幅員) 450 cm	
	② 歩車道及び歩道の路面は滑りにくい仕上げになっている	○	(歩車道) その他を記入 (歩道) タイル(インターロッキング含) その他を記入	ブリッジ部分の床タイルがややずべる。
	③ 出入口までの路面に段差(2cm超)がない	○	(高さ) cm (場所)	
	④ 身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されている(専用の標示があるもの)	×	(台数) 台分 (幅員) cm	車道に掛からない位置に2台程度の駐車スペースがある
	⑤ (任意設置) 出入口までの路面にロードヒーティングが設置されている	○	(方式) 電気式 その他を記入	
2. スロープ		/	2 階を主たる出入口としている	
参考：勾配 1/12=約4.8度 1/8 =約7.1度 1/20=約2.9度	① スロープの入り口に段差(2cm超)がない	/	(高さ) cm	
	② スロープに手すりを設置している(勾配1/12以下で高さ16cm以下、又は1/20以下の傾斜部分は免除)	/	(高さ) cm (材質)	
	③ 幅が120cm以上ある(階段併設の場合は90cm以上)	/	(内法幅) cm (階段併設)	
	④ 勾配1/12以下になっている(高さ16cm以下は、勾配1/8以下)	/	(勾配) 度 (高さ) cm	
	⑤ 高さが75cmを超える場合は、高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けている(勾配が1/20以下の場合は免除)	/	(踏幅) cm (高さ) cm	
	⑥ スロープは滑りにくい仕上げになっている	/	(仕上) その他を記入	
	⑦ スロープ途中で水が溜まったり、タイルが割れたりしているところがない	/	(現況)	
	⑧ スロープの周辺には自転車等で妨げられない工夫がされている	/	(措置内容)	
	⑨ (任意設置) スロープ床面にロードヒーティングが設置されている	/	(方式) その他を記入	

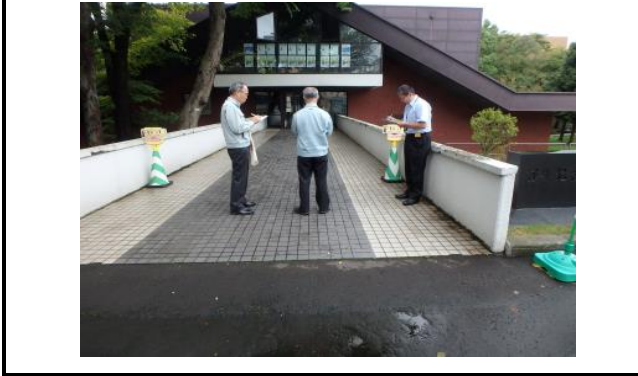
施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)	特記事項
3. 出入口		○	2 階を主たる出入口としている	
	① 出入口の階段に手すりを設置している (階段 蹴上げ×踏面×段数)	—	(高さ) cm (材質) (階段) 蹴上 cm 踏面 cm 段	階段なし
	② 階段の床面は滑りにくい仕上げになっている	○	(仕上材) タイル	
	③ 出入口の幅は80cm以上ある	○	(内法幅) 105 cm	
	④ 車いす使用者等が容易に開閉して通過できる戸となっている	○	(開閉方式) 引き戸 (駆動方式) 自動	192cm
	⑤ 扉の前後に水平部分を設けている (150cm以上)	○	(水平部分) cm	
	⑥ 出入口に雨よけ(庇等)がある	○	(設置状況)	躯体
	⑦ 出入口の近辺に、昇降機及び便所の場所が容易に確認できる案内板等が設置されている	△	(設置状況) 視認しづらい。	身障者用トイレのサイン無し
(任意設置) ⑧ 出入口の階段にロードヒーティングが設置されている	—	(方式) その他を記入		

施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)		特記事項
4. 屋内階段	(出入口近辺の主たる屋内階段)	○	2階を主たる出入口としている		
	① 手すりが設置されている (踊場を除く)	○	(高さ) 80 cm (材質) 木 (現況)		
	② 床面は滑りにくい仕上げになっている	○	(仕上材) ビニル床シート		
	③ 段が識別しやすくなっている (踏面の端部とその周囲の部分との色の 明度、色相又は彩度の差が大きい)	△	(現況) 赤い段鼻ノンスリップ設置されているが、全体的に暗い色となっている		
5. 屋内スロープ		／	2階を主たる出入口としている		
	① スロープに手すりを設置している (勾配1/12以下で高さ16cm以下の傾 斜部分は免除)	／	(高さ) cm (材質)		
	② 幅が120cm以上ある (階段併設の場合は90cm以上)	／	(内法幅) cm (階段併設)		
	③ 勾配1/12以下になっている (高さ16cm以下は、勾配1/8以下)	／	(勾配) 度 (高さ) cm		
	④ 高さが75cmを超える場合は、高さ75 cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を 設けている	／	(踏幅) cm (高さ) cm		
	⑤ スロープは滑りにくい仕上げになってい る	／	(仕上)		
	⑥ 前後の廊下等と識別しやすい仕上げと なっている	／	(現況)		
6. 昇降機	(2階建て以上の場合)	×			
	① 近辺に標識が設置されている	-	(標識)		階段昇降機あり
	② 出入口幅は80cm以上ある	-	(内法幅) cm		
	③ かごの奥行きは135cm以上ある	-	(かご奥行き) cm		
	④ 乗降ロビーは水平で、150cm×150cm 以上ある(段差の有無)	-	(以下の場合) cm x cm (段差)		
	⑤ かご内及び乗降ロビーに車いす使用者 が利用しやすい制御装置を設けている	-			
	⑥ 制御装置は視覚障害者が円滑に操作で きる(点字表示)	-	(点字表示)		
	⑦ かご内に停止予定階、現在位置の表示 装置を設けている	-			
	⑧ 乗降ロビーに昇降方向の表示装置を設 けている	-			
	⑨ 足下の視野を確保できるミラーが設置さ れている	-			
	⑩ かご内に到着階、出入口閉鎖を知らせる 音声装置を設けている	-			
	⑪ かご内及び乗降ロビーにかごの昇降方 向を知らせる音声装置を設けている	-			
	⑫ フロアの最も遠い部分からの距離が60 m以内である	-	(距離) m		

施設部位等	点検項目	判定	現況(チェック欄)	特記事項
7. 身障者用トイレ	設置場所のどこを確認したか ⇒ 1階	○	(箇所数) 1 (設置場所) 1階 玄関ホール	
	① トイレの近辺に標識が設置されている	○	(標識) ピクトグラム	
	② 出入口は容易に開閉できる構造(引き戸)になっているか	○	(開閉方式) 引き戸 (駆動方式) 手動	電動でも開閉することができる
	③ 出入口幅は80cm以上ある	○	(幅) 90 cm	
	④ 出入口前には車いすが転回できる空間がある(150cm×150cm以上)	○	(空間) cm x 225 cm	
	⑤ トイレ内は、車いす使用者の利用に十分な空間が確保されている(200cm×200cm以上)	△	(空間) 196 cm x 225 cm	支障は無い
	⑥ 車いす使用者が利用しやすい、腰掛便座、手すり等が適切に設置されている(便座の高さ 40~45cm程度)	○	(高さ) 42 cm (便座) 洗浄便座 (手すり) 有	
	⑦ 床面は滑りにくい仕上げになっている	○	(仕上材) ビニル床シート	
	⑧ トイレ内に荷物置き場またはフックが設置されている	×	(種別) その他 その他を記入 ベビーシートあり	
	⑨ 緊急呼び出しボタンが設置されている	○	(発報先) ホールに発報のみ	
	⑩ 緊急呼び出しボタンは転倒した場合にも使用できるように、床面に近いところにも設置されている	×	(現況) H=80cm	
	⑪ 便器洗浄ボタンは、立位、座位(便座から、車いすから)で押せるようになっている	○	(現況) ペーパーホルダーの上に設置されている	
	⑫ 洗面台が設置されている(高さ70cm程度)	○	(高さ) 72 cm (水栓型式) 自動水栓式	
	⑬ フロアの最も遠い部分からの距離が50m以内である	○	(距離) m	
	⑭ 清掃は行きとどいている	△	(現況) ベビーシートは行われていない。	
	⑮ 緊急呼び出しボタンの作動点検を行っている	×	(現況)	
⑯ 手すりの点検を行っている	×	(現況)		
8. その他 (バリアーになっているもの)				

1. 通路

① 出入口までの通路は、車いす使用者等が安全に通行できるようになっている



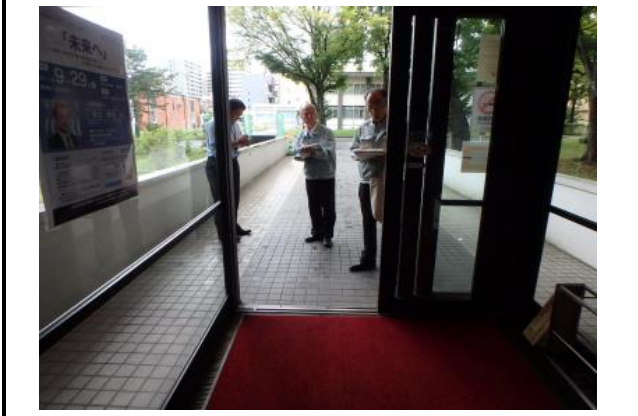
- ・出入口まで専用の通路(ブリッジ)になっている
- ・床面はタイル仕上げ、中央部分はロードヒーティングされている



- ・現在、専用駐車場は設置されていない
- ・車道とブリッジの間は、専用駐車場が設置可能な緩衝エリアがある
- ・専用駐車場の設置が必要(2~3台分のスペースがある)
- ・通路に段差は無い

3. 出入口

③ 出入口の幅は80cm以上ある

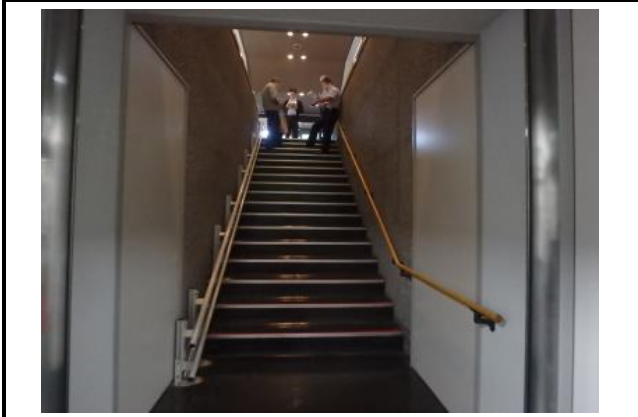


- ・出入口は自動扉(引き戸)
- ・出入口の幅、105cm
- ・出入口の外側は屋根がある



4. 屋内階段

① 手すりが設置されている(踊場を除く)



- ・階段手すり(木製)が設置されている H=80cm



4. 屋内階段

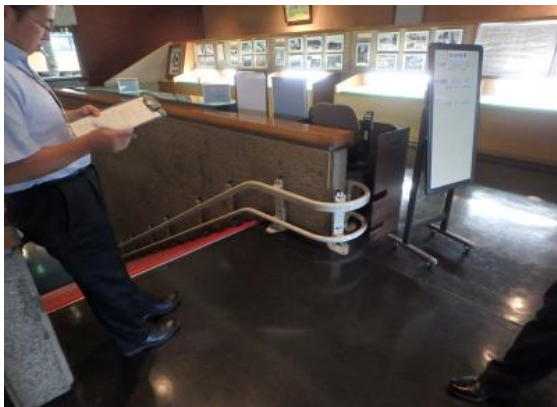
③ 段が識別しやすくなっている(踏面の端部とその周囲の部分との色の明度, 色相又は彩度の差が大きい)



- ・赤色のノンスリップが設置されている
- ・赤色のノンスリップであるが、全体が暗い

6. 昇降機

① 近辺に標識が設置されている



- ・階段昇降機の表示看板は設置されていない
- ・階段昇降機が設置されている

7. 身障者用トイレ

① トイレの近辺に標識が設置されている



- ・階段の壁にトイレの標識が設置されている
- ・一般用のトイレの表示



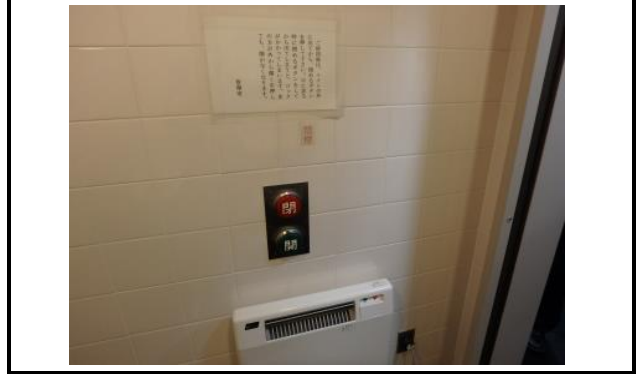
- ・1階ロビーに身障者用トイレの標識がある
- ・緊急呼び出し装置が設置されている

7. 身障者用トイレ

② 出入口は容易に開閉できる構造(引き戸)になっているか



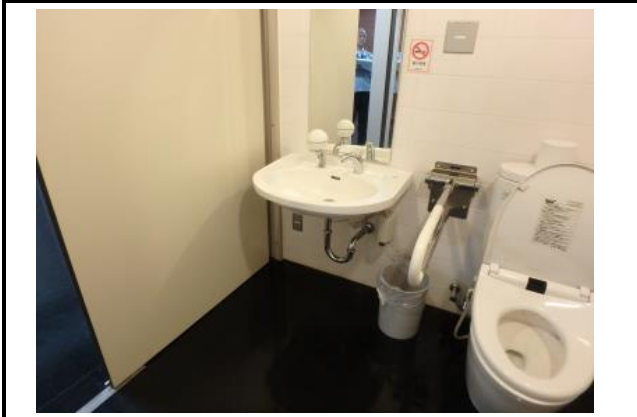
・出入口扉は電動式 引き戸 外側



・出入口扉は電動式 引き戸 内側 開閉スイッチ

7. 身障者用トイレ

⑤ トイレ内は、車いす使用者の利用に十分な空間が確保されている(200cm×200cm以上)



・内部空間寸法(196*225cm)となっており、片面が4cm狭い

・洗面台が設置されている



・床の仕上げ材はビニル床シート

・内部に荷物置き場またはフックが設置されていない

・ベビー用ベッドが設置されており、荷物置き場の代替になる

7. 身障者用トイレ

⑩ 緊急呼び出しボタンは転倒した場合にも使用できるように、床面に近いところにも設置されている



・緊急呼び出しボタンが設置されている

・ただし、床面に近い場所には設置されていない



・緊急呼び出し装置のロビー側のインターホン

バリアフリー整備年次計画

団地区分	公開性	利用頻度	緊急度	総合優先度	該当場所	項目	対応策	短期的対応	中長期的対応	備考
札幌1	3	4			中央食堂	出入口までの通路である歩道が途切れている、また、歩道に段差がある	歩行者通路の区画線表示、及び、歩道の段差解消	○		
札幌1	3	4			中央食堂	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			中央食堂	身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されていない	身障者用駐車場(幅350cm以上)を設置	○		
札幌1	3	4			中央食堂	玄関スロープに手すりが設置されていない	スロープに手すり設置	○		
札幌1	3	4			中央食堂	玄関スロープにロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			中央食堂	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌1	3	4			中央食堂	出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			中央食堂	玄関出入口の扉が引き戸(自動ドア)になっていない	出入口扉改修	○		
札幌1	3	4			中央食堂	建物にエレベータが設置されていない	エレベータを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			ファカルティハウス エンレイソウ	身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されていない	身障者用駐車場(幅350cm以上)を設置	○		
札幌1	3	4			ファカルティハウス エンレイソウ	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない	階段の床仕上げを改善	○		
札幌1	3	4			ファカルティハウス エンレイソウ	建物にエレベータが設置されていない	エレベータを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			ファカルティハウス エンレイソウ	身障者用トイレ:荷物用フックが設置されていない	荷物用フックを設置	○		
札幌2	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	玄関スロープにロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌2	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	出入口の近辺に識別しやすい標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌1	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない(一部)	階段の床仕上げを一部改善	○		
札幌1	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	建物にエレベータが設置されていない	エレベータを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			北部食堂 (福利厚生会館)	身障者用トイレが設置されていない	身障者用トイレを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			北キャンパス食堂 (福利厚生会館)	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			北キャンパス食堂 (福利厚生会館)	身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されていない	身障者用駐車場(幅350cm以上)を設置	○		
札幌1	3	4			北キャンパス食堂 (福利厚生会館)	出入口扉の前後の水平部分が寸法不足(150cm未満)	150cm以上に改修	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			北キャンパス食堂 (福利厚生会館)	出入口の近辺に識別しやすい標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌1	3	4			図書館本館	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	3	4			図書館本館	屋外スロープの一部に勾配が1/12以上の箇所がある	ロードヒーティングが設置されているので現状維持	○		
札幌1	3	4			図書館本館	出入口の近辺に識別しやすい標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌1	3	4			図書館本館	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない	階段の床仕上げを改善	○		

バリアフリー整備年次計画

団地 区分	公開性	利用 頻度	緊急 度	総合 優先 度	該当場所	項目	対応策	短期的 対応	中長期 的対応	備考
札幌1	3	4			図書館本館	エレベータの位置が容易にわかる標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌2	3	3			E棟	出入口までの通路が、歩車道分離されていない	歩行者通路の区画線表示	○		
札幌2	3	3			E棟	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			E棟	身障者用駐車場(幅350cm以上)が設置されていない	身障者用駐車場(幅350cm以上)を設置	○		
札幌2	3	3			E棟	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌2	3	3			E棟	玄関出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			E棟	出入口の近辺に識別しやすい標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌2	3	3			E棟	室内階段の手すりが一部不足している	階段に手すりを追加設置	○		
札幌2	3	3			E棟	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない(一部)	階段の床仕上げを一部改善	○		
札幌2	3	3			E棟	エレベータの位置が容易にわかる標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌2	3	3			E棟	エレベータの設備に一部不備がある	エレベータの不足等設備を改善	○	○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			N棟	建物にエレベータが設置されていない	エレベータを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			N棟	身障者用トイレの位置がわかる標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌2	3	3			示範教室 ラーニングシアター	渡り廊下スロープに手すりが設置されていない	スロープに手すり設置	○		
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	玄関スロープにロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	玄関出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	玄関出入口の扉が引き戸(自動ドア)になっていない	出入口扉改修	○		
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	出入口扉の前後の水平部分が寸法不足(150cm未満)	150cm以上に改修		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	出入口の近辺に識別しやすい標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	出入口に雨よけの庇が無い	雨よけの庇を設置	○		
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	建物にエレベータが設置されていない	エレベータを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	3	3			中講義室 (S棟)	身障者トイレの扉が引き戸になっていない	現状維持 (構造上引き戸とすることはできない)		○	
札幌2	2	3			北図書館 (旧館)	出入口までの通路に一部改善を要する箇所がある	歩行者通路の区画線表示	○		
札幌2	2	3			北図書館 (旧館)	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	2	3			北図書館 (旧館)	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌2	2	3			北図書館 (旧館)	玄関出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置		○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	2	3			北図書館 (旧館)	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない(一部)	階段の床仕上げを一部改善	○		

バリアフリー整備年次計画

団地区分	公開性	利用頻度	緊急度	総合優先度	該当場所	項目	対応策	短期的対応	中長期的対応	備考
札幌1	2	3			百年記念会館	前面道路の歩車道分離が不十分、及び、身障者用駐車場が設置されていない	歩行者通路の区画線表示、及び、身障者用駐車場の設置	○		
札幌1	2	3			百年記念会館	出入口の近辺に識別しやすい標識が設置されていない	標識を設置	○		
札幌1	2	3			百年記念会館	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない(一部)	階段の床仕上げを一部改善	○		
札幌1	2	3			百年記念会館	建物にエレベータが設置されていない	エレベータを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			学術交流会館	前面道路の歩車道分離が不十分	歩行者通路の区画線表示	○		
札幌1	2	3			学術交流会館	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			学術交流会館	玄関スロープに手すりが設置されていない部分がある	スロープに手すりを追加設置	○		
札幌1	2	3			学術交流会館	玄関スロープにロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			学術交流会館	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌1	2	3			学術交流会館	玄関出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			学術交流会館	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない(一部)	階段の床仕上げを一部改善	○		
札幌1	2	3			学術交流会館	エレベータの設備に一部不備がある	エレベータの不足等設備を改善	○	○	・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			クラーク会館	前面道路の歩車道分離が不十分、歩道に段差がある、及び、身障者用駐車場が設置されていない	歩行者通路の区画線表示、歩道の段差解消、及び、身障者用駐車場の設置	○		
札幌1	2	3			クラーク会館	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			クラーク会館	玄関スロープに手すりが設置されていない	スロープに手すり設置	○		
札幌1	2	3			クラーク会館	玄関スロープにロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			クラーク会館	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌1	2	3			クラーク会館	玄関出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌1	2	3			クラーク会館	室内階段の段が、識別しやすい仕上げとなっていない(一部)	階段の床仕上げを一部改善	○		
札幌2	2	3			遠友学舎	駐車場からの通行経路である歩道に段差がある、身障者用駐車場がない	歩道の段差解消、横断歩道の表示 駐車用駐車場を設置する	○		
札幌2	2	3			遠友学舎	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すり設置	○		
札幌2	2	3			情報教育館	通行経路の歩車道分離が一部不十分、身障者用駐車場の標識がない	歩行者通路の区画線表示、身障者用駐車場の標識を設置	○		
札幌2	2	3			情報教育館	出入口までの通路にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	2	3			情報教育館	玄関出入口の階段に手すりが設置されていない	階段に手すりを設置	○		
札幌2	2	3			情報教育館	玄関出入口の階段にロードヒーティングが設置されていない	ロードヒーティングを設置	○		・整備方法、整備・維持管理に必要な財源の検討が必要
札幌2	2	3			情報教育館	室内階段の手すりが一部不足している	階段に手すりを追加設置	○		

○公開性・利用頻度・緊急度のポイント解説は、P12 6-3「施設整備の優先度」を参照

○総合優先度は、公開性・利用頻度・緊急度を総合的に判定した最終優先度を表す（優先度高いA～優先度低いD）

○短期的対応は、概ね5年を超えない期間内に改善を目指す事項

○中長期的対応は、概ね5年以上の期間を要する課題を持っている事項を表す

その他

ユニバーサルデザイン・バリアフリー検討グループ会議

(平成29年度)

◎事務担当

●高等教育推進機構

伊藤 康弘 高等教育推進機構准教授

●学務部

藤野 祐一 学生支援課課長補佐

●施設部

長井 一夫 シニアマネージャー

澤口 哲也 シニアマネージャー

◎押田 聡 施設整備課課長補佐

長谷川 裕 環境配慮促進課サステイナブルキャンパス担当